

平成 27 年度

(第 53 事業年度)

事業報告書

公益財団法人 マリンスポーツ財団

目 次

一 般 概 況	1
---------------	---

第1章 事 業

I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業	6
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業	8

II 収益事業

1 二色の浜公園の運営管理の付帯事業	9
2 特殊小型船舶操縦講習事業	10
3 Maris マリンスポーツパーク・浜寺における安全啓発事業の付帯事業	11

III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業	12
---------------------------	----

第2章 組 織

1 理事会及び評議員会	15
2 評議員選定委員会	15
3 役員等の動向	16
4 監査	16
5 関係団体との交流	16
6 職員等の動向	16
別表1 役員名簿	17
別表2 評議員名簿	17

参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況	18
------------------------------	----

事業報告

(第53事業年度)

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

一般概況

当財団の平成27年度の諸事業は、関係各位の多大なる協力のもと、所期の目的を達成して、ここに終了した。

近年、水辺の事故がクローズアップされることが多くなり、海水浴をはじめとする水辺離れの傾向が顕著になっている。水難事故も国際的な問題となっており、WHO（世界保健機関）では世界で年間37万人余りが溺水で命を落としていると、警鐘を鳴らしている。

このような背景のもと、当財団では、より多くの人々に安心して水辺に親しむことができるよう、国内外の関係機関と協調し水辺の安全性の向上と溺水事故防止に重点を置いて事業を遂行した。

主たる事業としては、「いつでも・どこでも・だれもが」安全、快適に水辺の余暇を楽しめるよう、関係官庁・自治体・公益団体等と連携して、安全教育や、体験型イベントを通じて海事思想の普及を図った。また、水上オートバイを使用した操縦技術、レスキュー技術等の講習会により安全意識の向上を図ると共に、水辺利用を主たる目的とした大阪府営二色の浜公園、マリンスポーツパーク・浜寺（大阪府立漕艇センター）、新潟県柏崎市みなとまち海浜公園の管理業務においては、利用者に対してルール・マナーの啓発を行い、施設の適正な運営管理を行った。

なお、マリンスポーツパーク・浜寺（大阪府立漕艇センター）については、今年度末をもって5年間の指定管理期間を無事に終了することができた。

またマリンスポーツの普及活動として、ルールやマナー、安全意識と操縦技能の向上に重点をおいた免許取得講習会を開催するとともに、各種マリンスポーツ競技団体や全国各地のMarisクラブに対して、健全な競技の普及と、地域社会との連携を図れるよう活動への支援・協力を行った。

これらの事業活動についてはホームページ、フェイスブック等を積極的に活用し、有効な周知を図ることができた。

第 1 章 事 業

I. 公益事業

1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業1）

本事業により、関係官庁、自治体、公益団体等と協調し、多くのイベント参加者に対してマリンスポーツの普及、安全啓発を図った。

(1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

① 海洋実践学習（Maris 海洋スクール）の開催

a. Maris 海洋スクール in 西条

実施期日 平成27年7月26日（日）

実施場所 愛媛県西条市西条港

実施内容 「水辺の安全教室」

- ・命を守るライフジャケット
- ・ペットボトルで人命救助体験
- ・キッズボート、水上オートバイ、プレジャーボート体験乗船

参加人数 41名

b. Maris 海洋スクール in 蘇我

実施期日 平成27年10月4日（日）

実施場所 千葉県千葉市中央区 FESTIVAL WALK 蘇我

実施内容 「水辺の安全教室」

- ・命を守るライフジャケット
- ・ペットボトルで人命救助体験、心肺蘇生方法とAED体験
- ・キッズボート、カヌー体験乗船
- ・SUP（スタンドアップパドルボート）体験乗船、SUP ヨガ教室

参加人数 当日悪天候の為中止

c. Maris 海洋スクール in 浜寺

実施期日 平成27年9月20日

実施場所 大阪府高石市 マリンスポーツパーク浜寺

実施内容 「水辺の安全教室」

- ・ライフジャケットの重要性について
- ・ライフジャケットの着用方法について
- ・ペットボトルの救助体験

参加人数 子供72名 保護者48名

② 親水イベントの開催・支援

a. 親水イベントの開催支援・協力

期 日	行事名称	場 所	参加者数
5/24	第7回隅田川水面の祭典2015 (共催：協同組合浅草商店連合会)	東京都台東区 (隅田川)	290
5/30-31	マリンスポーツフェスタ in 碧南 (共催：(公社) 日本モーターボート選手会)	愛知県碧南市 (常設訓練所)	849
7/11	豊洲マリンスポーツフェスタ 2015	東京都江東区	300
7/12	マリンチャレンジ2015 (UMI 協議会)	(豊洲6丁目第二公園)	239
7/18-19	横須賀うみかぜカーニバル2015 (共催：横須賀市、Maris クラブ湘南)	神奈川県横須賀市 (うみかぜ公園)	706
7/20	「いずみさの関空マリーナ」マリンフェスティバル	大阪府泉佐野市	90
7/26	マリンスポーツフェスタ in 西条 (共催：西条市)	愛媛県西条市	412
9/6	マリンスポーツフェスタ in 二色の浜	大阪府貝塚市	112
10/4	マリンスポーツフェスティバル in 蘇我	千葉県千葉市	313
合 計			3,311

※観客は参加者数に含まない

b. 「WEAR IT!」(ライフジャケット常時着用) 活動の推進

(a) 「Ready, Set, Wear It!」ライフジャケット着用キャンペーンへの参加

ライフジャケットの常時着用を呼びかける国際キャンペーンに参加し、水辺の安全啓発に積極的に協力した。このキャンペーンは、世界中でライフジャケット着用者数の世界記録に挑戦するもので、本年度も着用者数の世界記録の樹立に貢献することができた。

実施期日 平成27年5月16日(土)

実施場所 千葉県千葉市 (FESTIVAL WALK 蘇我)

岡山県玉野市 (たまの・港フェスティバル会場)

大阪、広島、徳島、神奈川、アメリカ、カナダ他

参加人数 10,917名 (うち日本：2,759名) 前年比180%

※前年 6,973名 (うち日本：1,526名)

(b) マリンスポーツフェスティバル in 隅田川

実施期日 平成27年5月24日(日)

実施場所 東京都台東区 隅田川

実施内容 ・スーパーキッズボート体験操船

・水上オートバイフリースタイル第2戦

参加人数 キッズボート：169組 290人

c. ライフジャケットレンタルステーションの設置（3ヶ所）

海水浴場においてライフジャケットの無料貸出しを行い、着用の有効性の理解と安全意識の向上を図った。

- ・設置場所 静岡県浜松市 ①新居弁天海水浴場 ②弁天島海水浴場
神奈川県逗子市 ③逗子海岸海水浴場

d. マリンスポーツの普及に関する広報活動

(a) インターネットを活用した情報発信

マリンスポーツや、安全、環境保全に関する情報を、ホームページ、フェイスブック等により配信し、周知、啓発を行った。

- ・ホームページ 訪問者数 平成27年度 107,731人
- ・フェイスブック ファンの数 平成27年度 651人
平成26年度 481人
平成25年度 261人

e. 親水関連器材の貸出し

(a) イベント等における利用

キッズボート、無線機、ライフジャケット、AED等

(b) 特殊小型船舶免許の講習会や国家試験における利用

水上オートバイ

(2) マリンスポーツ施設を活用した一般利用者に対する安全啓発事業

① 海浜公園における安全啓発（受託事業）

柏崎市の受託施設において、利用者への指導や施設等の適正な運営を行った。

実施場所 新潟県柏崎市みなとまち海浜公園

実施時期 平成27年4月25日～ 6月30日のうち14日間

7月 1日～ 8月31日のうち38日間

9月 1日～11月28日の土曜と隔週の水曜日

- 業務内容
- ・海岸入場口の管理
 - ・マリンスポーツ交流センター（管理棟）の管理
 - ・海岸エリアの監視
 - ・利用者へのルール、マナーや安全指導

利用状況 過去5年間における当施設の利用状況は表のとおり

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
登録数（隻）	310	316	475	246	0
登録車両（台）	463	505	497	131	0
利用者（名）	5,735	5,232	5,955	3,620	0

※本年度は水深が浅く、安全確保の為水上オートバイの利用を禁止した。

② マリンスポーツ施設における安全啓発（指定管理事業）

大阪府の指定管理施設マリンスポーツパーク・浜寺において安全講習会や、利用者への安全及びルール・マナーの指導等適正な運営を行った。

管理期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日

所在地 大阪府高石市

業務内容 ・施設の運営及び維持管理
 ・漕艇用舟艇の保管管理

a. 施設を利用したイベント一覧

期 日	行事名称	来場者数
5/17	平成27年度大阪高等学校総合体育大会ボート競技 兼インターハイ予選漕艇ボート競技大会	200
5/30-31	平成27年度 近畿高等学校総合体育大会ボート競技	700
6/7	平成27年度 大阪府民体育大会 カヌー競技 兼 国民体育大会大阪府予選 カヌー競技	200
6/20	第70回国体大阪府予選会 平成27年度大阪府民体育大会 兼 第36回 浜寺レガッタ	1,350
6/20-21	堺泉北港ドラゴンボート大会（高石シーサイドフェスティバル 2015）	1,450
6/27-28	平成27年度 関西漕艇選手権大会 兼 浜寺杯レガッタ	500
7/5	第63回 大阪市立大学・神戸大学定期戦 第31回 旧三商科大学定期戦	440
7/18	第70回和歌山国体近畿ブロック予選会	600
8/2	全日本歯科学学生体育大会漕艇部門	40
9/20	第2回堺市登西っ子レガッタ	120
10/18	第57回 NYKグループ 名阪神水上運動会兼西日本スポーツ懇親会	700
10/24-25	第39回 大阪府高等学校ボート新人選手権大会	100
10/30-31	全国高等学校選抜ボート大会近畿予選	200
11/1	第59回 大阪レガッタ	100
11/7-8	シングルスカル6000m タイムトライアル	150
11/15	ドラゴンボートチーム 個人漕力測定会	40
1/5-6	ウィンターカップボート選手権	450
2/20-22	スプリングキャンプボート大会	550
合 計		7,890

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業2）

（1）ウォーターセーフティエキスパートの育成事業

K38 JAPANメンバーを中心に新たに改定された「心肺蘇生法ガイドライン 2015」に対応したカリキュラムの習熟を図った。

期 日	講習種別	場 所	受講者数
2/7	ファーストレスポnderコース	神奈川県平塚市	9

（2）水上オートバイ及び水上安全の普及啓発

水上オートバイを活用した安全運航講習会等により救助者の安全意識の向上及び関係機関相互の連携強化を図るとともに、各種イベントにおける水上管理業務やパトロール等による安全、マナー及びルール等の啓発活動を行った。

① 講習会の実施

期 日	講習種別	場 所	所 属	受講者数
4/19	ステージ2	広島県廿日市市	PW安全協会	9
5/28-30	ステージ1・2・3	神奈川県平塚市	試験機関等	4
6/24-26	ステージ1・2・3	沖縄県沖縄市	消防士等	6
6/29	基礎コース	沖縄県沖縄市	消防士等	8
8/4-6	ステージ1・2・3	広島県廿日市市	消防士等	4
9/29-30	安全運航講習	東京都府中市	運輸安全委員会	20
10/24-26	ステージ1・2・3	神奈川県平塚市	メーカー、試験機関	8
11/9	安全運航講習	宮城県仙台市	仙台市消防局	50
11/20	安全運航講習	静岡県浜松市	消防士、警察官	22
11/21-23	ステージ1・2・3	静岡県浜松市	ライフセーバー、消防士	18
1/29-2/1	ステージ1・2・3	沖縄県沖縄市	消防士、団体職員	7
2/2	基礎コース	沖縄県沖縄市	消防士	10
合 計				166

② 安全管理等の活動

期 日	内 容	場 所
4/11	広島ボートショー レスキューデモンストレーション	広島県廿日市市
4/26	アジア大会トライアスロン試泳会 水上管理	広島県廿日市市
5/24	第7回隅田川水面の祭典 レスキューデモ・安全管理	東京都台東区
6/7	水難救済会平塚救難所安全パトロール	神奈川県平塚市
6/14	みやじま国際パワートライアスロン 安全管理	広島県廿日市市
6/23	3機関合同海難訓練	大阪府貝塚市
7/26	海上安全指導員・海保合同東京港パトロール	東京港湾区域
8/7	第6回サマーフェスティバル宮島 安全管理	広島県廿日市市

8/8	オープンウォータースイムレース スイカカップ	神奈川県三浦市
8/22-23	WWA Wakeboard World Series 2015 安全管理	東京都江東区
8/29-30	湘南オープンウォータースイミングレース 安全管理	神奈川県逗子市
10/31	神戸港開港 150 周年祭「RED BULL FLUGTAG」 安全管理	兵庫県神戸市

③ T P S Pプロジェクトへの協力

東京港湾区域、運河、河川における水上オートバイの安全、健全な利用の推進を図るため、2014年に発足した「東京港・湾・河川における水上オートバイ安全航行プロジェクト（TPSP）」に参画し、一般ユーザー等に対する安全講習会や、水上オートバイによる周辺パトロールを通じて指導を行った。

<TPSP構成団体>

K38 JAPAN / (一社) ウォーターリスクマネジメント協会
(特非) PW安全協会 / (株) エッジ (事務局)

期 日	内 容	場 所
4/5. 5/17. 6/14. 10/2	水上オートバイによるパトロール	運河、河川等
4/2. 11. 16. 5/14. 6/18 7/25. 30. 8/23	水上オートバイ安全講習会	東京都江東区 夢の島マリーナ他

(3) I B W S S (International Boating & Water Safety Summit) への参加

平成27年3月29日(日)～4月1日(水)まで、アメリカ合衆国フロリダ州サンデスティンにおいて開催された「第19回インターナショナルボートینگ&ウォーターセーフティーサミット(I B W S S)」に2名が参加し、日本のボートینگに関する情報の発信や、国際的な水上安全に関する動向、舟艇事情等の情報収集及び関連機関との連携強化を図った。また、メディアキャンペーンコンテストにおいて、当財団のウェブサイトが表彰を受けた。

発表テーマ 日本における小型船舶のスタンダード

受賞内容 「WEAR IT!」ウェブサイト (Electronic Education 部門)

(4) 水上安全対策の強化

① 「2015 Water Safety Meeting」の開催

場 所 東京都江東区夢の島マリーナ

参加者 11団体・40名

② K38 JAPANミーティング&トレーニング

期 日	内 容	場 所
4/18	K38 JAPANシンポジウム	東京都江東区
10/27	サーフエアートレーニング	千葉県大網白里
10/28	メンバーミーティング	東京都江東区
2/8	メンバーミーティング	神奈川県平塚市

③ 災害時における救助、救援体制の構築

12/18-19	鬼怒川決壊災害調査	茨城県つくば市他
----------	-----------	----------

④ インストラクターの育成

3/12-15	RWCインストラクタートレーニング（4名）	カリフォルニア州
---------	-----------------------	----------

3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

大阪府の指定管理施設において、公園管理業務に加え、水上オートバイ利用者への安全に関する指導、周辺海域の監視など適正な運営を行った。

(1) 大阪府営二色の浜公園の運営管理

- 管理期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日
- 所在地 大阪府貝塚市
- 管理施設 公園、スポーツ施設管理（野球場、テニスコート他）
水上オートバイ施設、バーベキュー施設
- 業務内容
- ・各施設の運営及び維持管理
 - ・水上オートバイ施設利用者のルール、マナー及び安全指導
 - ・周辺海域の監視

① 公園利用状況

a. 公園利用者数 (平成27年4月1日～平成28年3月31日実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	73,992	168,128	63,772	80,232	111,332	71,616	53,536	42,988
テニスコート	1,462	1,673	1,527	1,567	1,568	1,701	972	1,375
軟式野球場	200	863	828	649	434	522	235	215
球技広場	565	843	665	818	668	1,208	1,788	1,111
スポーツ広場	193	301	275	536	80	3,210	258	482

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
来園者	17,368	21,244	22,448	46,372	773,028名	746,396名	104%
テニスコート	1,191	647	694	1,517	15,894名	18,652名	85%
軟式野球場	132	444	640	437	5,599名	12,291名	46%
球技広場	730	1,835	2,105	1,188	13,524名	12,979名	104%
スポーツ広場	110	311	324	638	6,718名	8,799名	76%

b. 水上オートバイ専用施設利用状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用船舶	100	266	312	529	753	263	67	62
新規登録	17	38	48	58	72	23	6	8
更新登録	5	17	16	41	44	7	5	2

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用船舶	51	40	46	0	2,489隻	2,597隻	96%
新規登録	0	3	5	12	290隻	299隻	97%
更新登録	0	0	3	1	141隻	138隻	102%

② 施設を活用した事業活動

期 日	行事名称	参加人数
7/25	キッズボート体験乗船会（水間鉄道）	37
9/6	マリンスポーツフェスタ in 二色の浜公園	112
11/30	二色の浜公園ウォーキングDAY	63
合 計		212

II. 収益事業

収益事業では、指定管理業務に付随する飲料や工具等の販売、会議室、貸艇等の運営業務のほか、水上オートバイの免許取得講習会を実施した。

1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業（収益事業1）

大阪府の指定管理施設において、駐車場、バーベキュー施設、売店などの便益施設の運営管理を行った。

(1) 大阪府営二色の浜公園の運営管理

実施時期 平成27年4月1日から平成28年3月31日
 実施場所 大阪府貝塚市（沢、脇浜、二色南地区）
 業務内容 駐車場、附属施設の運営及び維持管理

利用状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
入場車両	6,656	14,845	5,793	7,421	9,755	6,843	4,841	3,761
野外炉利用者	1,381	4,515	3,008	2,399	4,026	2,144	1,908	690

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
入場車両	1,536	1,876	1,980	4,238	69,545台	64,976台	107%
野外炉利用者	0	28	15	422	20,536名	19,676名	104%

2. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業2）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、操船技術、安全意識の向上に重点をおいた特殊小型船舶操縦の免許取得講習会を実施した。

（1）Maris ジェットスクールの運営事業

① 試験コース

次のとおり講習会を11回開催し、国家試験が24回実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
4/25. 10/3 3/19	Maris ジェット スクール	多摩川ボートレース場	13	
4/26. 10/4 3/20	特殊小型船舶操縦士 国家試験	多摩川ボートレース場		20
5/10. 6/16. 7/28 9/10. 11/14	Maris ジェット スクール	桐生ボートレース場	65	
5/17. 6/17. 7/29 9/11. 11/15	特殊小型船舶操縦士 国家試験	桐生ボートレース場		66
5/31. 6/17	Maris ジェット スクール	二色の浜公園海浜緑地	12	
4/12. 22. 5/10. 20. 6/7. 24 7/9. 18. 8/1. 19. 9/6. 23 10/11. 11/8. 18	特殊小型船舶操縦士 国家試験	二色の浜公園海浜緑地		106
8/24	Maris ジェット スクール	新潟県立海洋高校	2	
8/24. 3/21	特殊小型船舶操縦士 国家試験	新潟県立海洋高校		3
合 計			92	195

② 教員育成

一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が実施する小型船舶教習所教員初任研修に協力者1名、再研修に職員1名が参加した。

③ 教習体験乗船会

高校生に対して水上オートバイの免許教習体験を次のとおり実施した。

期 日	内 容	場 所	受講者数
7/21	教習体験乗船会	新潟県立海洋高校	80

3. Maris マリンスポーツパーク・浜寺における安全啓発事業の付帯事業(収益事業3)

(1) マリンスポーツパーク・浜寺(大阪府立漕艇センター)における艇庫等及び船舶の貸出事業

実施時期 平成27年4月1日から平成28年3月31日

実施場所 大阪府高石市 マリンスポーツパーク・浜寺

業務内容 艇、艇庫、休息室、トレーニングルーム、会議室の貸出管理

① 施設利用者数 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸艇庫	4,380	3,686	8,692	4,032	3,385	4,096	5,380	2,285
貸 艇	588	226	232	67	251	863	859	154
休息室	350	160	465	362	275	35	190	20
トレーニング室	2	0	0	0	0	0	1	0
会議室	140	0	175	0	0	0	0	120
シャワー・ロッカー	0	72	295	0	0	0	103	103

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
貸艇庫	1,508	2,546	4,029	3,512	47,531名	38,010名	125%
貸 艇	30	228	50	74	3,622名	7,827名	46%
休息室	0	0	72	0	1,929名	1,210名	159%
トレーニング室	0	0	4	5	12名	7名	171%
会議室	120	20	320	65	960名	466名	206%
シャワー・ロッカー	72	21	39	99	804名	816名	99%
合 計					54,858名	48,336名	113%

Ⅲ. その他継続事業

各種マリンスポーツ競技団体や、全国各地の Maris クラブに対し、活動への支援・協力を行った。

1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

(1) マリンスポーツ競技団体への活動支援

マリンスポーツ競技団体の運営体制、競技の普及、安全対策に対して支援を行った。

(2) 競技団体に対する運営支援

支援内容	支 援 先
団体助成	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟 (JWSA)
	全日本学生水上スキー連盟 (JCWSF)
	日本ジェットスポーツ連盟 (JJSF)
	日本パワーボート協会 (JPBA)
運営協力	日本アマチュアボートレース連盟 (JABF)
	日本ソーラー・人力ボート協会 (JSHA)

① 支援競技団体が実施した競技会

a. (特非) 日本水上スキー・ウェイクボード連盟、全日本学生水上スキー連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数
9/11-13	第 60 回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会	秋田県大潟村 (大潟村水上スキー場)	(10大学) 260
9/20-22	第 61 回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会	滋賀県草津市 (琵琶湖津田江浦)	91
合 計			351

b. 日本ジェットスポーツ連盟

全日本選手権シリーズ戦 (クローズドコース競技)

期 日	競技会名	場 所	参加者数
4/18-19	第 1 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	99
5/16	第 2 戦	愛知県蒲郡市(海浜海洋公園)	100
5/17	第 3 戦	愛知県蒲郡市(海浜海洋公園)	97
6/20	第 4 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	96
6/21	第 5 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	98
7/25	第 6 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	95
7/26	第 7 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	98
9/12-13	第 8 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	104
合 計			787

フリースタイル全日本選手権シリーズ

期 日	競技会名	場 所	参加者数
6/13-14	第 1 戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	13
7/18-19	第 2 戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	13
8/22	第 3 戦	広島県江田島市(ボートパーク広島)	10
9/12-13	第 4 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	12
合 計			48

c. 日本ソーラー・人力ボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
8/22-23	全日本選手権大会2015	愛知県碧南市(常設訓練所)	15

d. 日本パワーボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
5/30-31	2015日本グランプリパワーボートレース in 蒲郡 アクアバイク JAPANCUP2015 ROUND1	愛知県蒲郡市	68
7/19	TOPS2015第55回クラブ合同レース	茨城県神栖市	18
9/12-13	アクアバイク JAPANCUP2015 ROUND2	大阪府貝塚市	8
10/4	T O P S 2 0 1 5 サーキットレース Round 2	茨城県神栖市	14
12/5-6	芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース	神奈川県箱根町	66
合 計			174

e. 日本アマチュアボートレース連盟

期 日	競技会名	場 所	参加人数
4/5	2015 関東連盟K400 第1戦	桐生ボートレース場	30
4/26	第19回淡路島ちどり賞競走第1戦	兵庫県 浦壁大池	30
5/16	平成27年度第57回岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
5/17	平成27年度第58回岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
5/31	第19回淡路島ちどり賞競走第2戦	兵庫県 浦壁大池	30
6/7	2015 関東連盟K400 第2戦	桐生ボートレース場	30
8/21	第15回東海グランプリ	常滑ボートレース場	30
9/13	2015 関東連盟K400 第3戦	桐生ボートレース場	30
11/22	全日本K400選手権大会2015	児島ボートレース場	30
合 計			270

- (4) マリンスポーツ団体に関連する競技者、資格者、競技艇等登録の推移
 当財団支援団体の競技者等登録状況は、【参考資料】(P.18) のとおり

(5) マリスクラブへの支援

① サンクスマリン21支援事業

期 日	行事名称	場 所	参加人数
5/16-17	たまの港フェスティバル	岡山県玉野市	317
5/30	2015 マリンスポーツフェスティバル in 淡路島	兵庫県南あわじ市	46
5/30-31	マリンスポーツフェスティバル in あいおい	兵庫県相生市	380
7/11-12	水上オートバイ・キッズボート体験乗船会	北海道砂川市	151
7/19	マリンフェスタ in 小樽	北海道小樽市	322
7/25-26	マリンスポーツフェスティバル in WAKAYAMA	和歌山県和歌山市	850
7/25-26	2015 マリンスポーツフェスティバル in いわき	福島県いわき市	1,391
7/26	第15回ウォーターフェスタ in 小見川	千葉県香取市	400
8/2	マリンスポーツ体験乗船会 in かしわざき	新潟県柏崎市	375
8/2	浦臼 夏の味覚まつり	北海道浦臼町	213
合 計			4,445

② ボランティアネットワーク (Maris クラブの登録・認定)

認定番号	ク ラ ブ 名	登録	認定	会員数	認定年月日
1	Maris クラブ 東 京		○	18	2002年05月02日
2	Maris クラブ 和歌山		○	24	2004年06月17日
3	Maris クラブ いわき		○	20	2004年08月13日
4	Maris クラブ 千 葉		○	11	2011年02月24日
5	Maris クラブ 柏 崎		○	10	2003年12月25日
6	Maris クラブ 大 阪		○	10	2004年01月07日
7	Maris クラブ 愛 知		○	12	2006年06月01日
8	Maris クラブ 広 島		○	10	2004年09月07日
9	Maris クラブ 相 生		○	18	2004年09月07日
10	Maris クラブ 湘 南		○	16	2004年09月14日
11	Maris クラブ 淡路島		○	10	2004年09月14日
14	Maris クラブ 北海道		○	12	2007年11月07日
15	Maris クラブ 玉 野		○	10	2008年02月05日
17	(特非) Sea Net 浜松	○		6	2015年05月02日
合 計				187	

③ Maris クラブ全国連絡会議

実施期日 4月18日(土)
 実施場所 東京都江東区 夢の島マリーナ
 参加者数 11名(9クラブ)

第 2 章 組 織

1. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を2回、評議員会を2回開催した。

(1) 理事会

回	期 日	場 所	議 題
第 11 回	平成 27 年 6 月 8 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 平成 26 年度の事業報告及び決算報告(案)の承認について
第 12 回	平成 28 年 2 月 23 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 平成 28 年度事業計画及び予算(案)並びに付帯決議(案)の議決について (2) 規程の制定(案)および一部改正(案)について (3) 評議員会の開催について (4) その他緊急を要する件

(2) 評議員会

回	期 日	場 所	議 題
第 8 回	平成 27 年 6 月 23 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 平成 26 年度事業報告及び決算報告(案)の承認について
第 9 回	平成 28 年 3 月 29 日	笹川記念会館 4 階第 4 会議室	(1) 定款変更の議決について (2) 欠員に伴う後任理事の選任について (3) 任期満了に伴う次期理事、監事の選任について (4) その他緊急を伴う件

2. 評議員選定委員会

欠員に伴う評議員補充について、審議した。

期 日	場 所	委 員	議 題
平成 27 年 4 月 24 日	当財団会議室	天城 一 ・ 柴崎 治生 竹内 清治 ・ 梶原 義明 小田切 明	(1) 評議員の選出について

3. 役員等の動向

平成27年4月30日 北田靖則 評議員 就任

平成9年より評議員、平成13年より理事を務められた堀内浩太郎氏は、平成28年1月18日に逝去された。

平成28年3月29日 野口旭 評議員 辞任

平成28年3月30日 野口旭 理事 就任

平成28年3月31日現在の役員、評議員は別表1. 2 (P.17)のとおりである。

4. 監査

本年度の監査は、次のとおり実施された。

期日	実施者	場所	内 容
平成27年 6月3日	当財団監事	当財団 会議室	平成26年度事業報告及び決算

5. 関係団体との交流

本年度は、関係団体の式典等に役職員が出席し、これらの団体との交流、業界の情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

(1) 関係団体

会 議 等 名	出席回数	内 容
表彰式典等	6	やまと学校入学式・卒業式、社会貢献者表彰式典 日本科学協会研究奨励会、優秀選手表彰式典他

(2) 官庁・海事関連団体等

主 催 団 体	出席回数	会 議 内 容
国土交通省	5	UMI 協議会会議他
日本マリン事業協会	4	総会、PWC 部会他
マリン関係団体等	5	舟艇分科会、マリンウィーク会議他

6. 環境に配慮した活動

当財団の環境マネジメントシステムによる事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを実現した。また、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。

7. 職員等の動向

年度末における職員は6名、常勤顧問1名、契約職員1名、嘱託6名、臨時職員21名であった。

別表. 1

役員名簿（第2期）

平成28年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
会 長	笹 川 堯	
理 事 長	笹 川 善 弘	
常務理事	岡 村 一 臣	
理 事	松 木 勇	元 ヤマト発動機株式会社 代表取締役社長
理 事	中 島 敬 夫	株式会社 三益産業 代表取締役
理 事	野 口 旭	元 東京都モーターボート連盟会長
監 事	竹 内 清 治	元 財団法人競艇振興センター 会長
監 事	大 濱 秀 夫	株式会社 新東通信

任期：平成26年4月1日から2年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(平成28年6月)

別表. 2

評議員名簿（第1期）

平成28年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
評 議 員	梶 原 義 明	元 財団法人日本科学協会 常務理事
評 議 員	笹 川 和 弘	群馬県マリンスポーツ連盟 会長
評 議 員	本 間 徹	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟 会長
評 議 員	関 田 宏	元 ヤマト発動機株式会社 常務取締役
評 議 員	北 田 靖 則	公益財団法人献血供給事業団 専務理事

任期：平成24年4月1日から4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(平成28年6月)

参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況

(1) モーターボート競技関係

① 新規登録者の推移

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
選 手	15	19	15	15	17

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
選 手	35	30	44	40	28

② 選手・競技艇等の登録状況推移

（選手の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
選 手	179	195	196	193	223

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
選 手	328	360	370	271	245

（公認競技員、登録検査員の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
公 認 競 技 員	29	41	37	34	34
登 録 検 査 員	24	30	29	27	29
合 計	53	71	66	61	63

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
公認競技員	92	91	85	61	56
登録検査員	43	44	41	21	23
合 計	135	135	126	82	79

(競技艇の登録隻数)

サーキット・オフショア (日本パワーボート協会)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
OFF シリーズ	26	29	27	26	30
V シリーズ	20	30	29	28	32
F シリーズ	40	37	35	31	35
ハイドロシリーズ	8	9	9	8	8
S シリーズ	10	2	1	1	1
合 計	104	107	101	94	106

K400クラス (日本アマチュアボートレース連盟)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
K400	203	199	157	133	137

(2) 水上スキー競技関係

① 会員等の登録管理

(会員の登録者数)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
一 般	229	218	230	254	193
学 生	132	154	154	225	255
ジュニア	12	12	13	19	25
合 計	373	384	397	498	473

(ジャッジ、ドライバーの登録者数)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
ジャッジ	158	125	151	151	156
ドライバー	99	81	100	100	121
合 計	257	206	251	251	277

(3) ジェットスポーツ競技関係

① レーシングライセンス講習会

(新規選手講習会の受講者数)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
選 手	10	14	7	8	7

(選手の登録者数)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
プロ級	42	69	55	62	61
A 級	59	59	64	58	62
B 級	68	68	49	42	37
フリースタイル級	44	29	22	17	8
合 計	213	225	190	179	168

(競技員、検査員の登録者数)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
競 技 員	33	23	17	17	12
検 査 員	23	33	32	32	31
合 計	56	56	49	49	43

(競技艇の登録隻数)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
スキーディビジョン	136	210	189	88	60
スポーツディビジョン	16	20	22	16	5
ランナバウトディビジョン	10	6	34	21	14
ランナバウト 1200	6	20	4	2	0
ランナバウト 1600	83	130	113	28	31
合 計	251	386	362	155	110

平成27年度事業報告書は、以上のとおりです。

平成28年3月31日

会 長 笹 川 堯 印

平成27年度事業報告書に基づき監査した結果、いずれも事業報告書のとおり
事業が完了したことを認めます。

平成28年 月 日

監 事 竹 内 清 治 印

監 事 大 濱 秀 夫 印